

(別紙様式1)

あいさつ運動の好事例

玉野市立宇野中学校

(生徒数394名 教職員数42名)

※見出しを書く。

『小中合同あいさつ運動』 ～ 小中連携の取組 ～

アピールポイント

本年度より実施しているこの運動は、小中の先生・地域の方と一緒にしています。各小学校で中学生と一緒に登校してくる生徒たちに「おはようございます！」と声をかけると、元気よくあいさつが返ってきます。宇野中学校区(三小学校・一中学校)の生活目標の中にある「気持ちのよいあいさつができる生徒」がどんどん増えていって欲しい思います。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

児童会・生徒会執行部・交通委員が「あいさつ運動」の看板を掲げ、生徒への呼びかけを行っています。中には恥ずかしがって小声でしかあいさつを返せない生徒もいます。

■活動内容

朝8時00分～8時10分、中学校の朝の部活動がない日に合わせて、全教職員もローテーションで参加しています。中学校区の三小学校正門で月に1回行っています。

■取組の参加メンバー

児童会(各学年)・生徒(生徒会執行部・交通委員)・地域の方(登下校パトロールの方)・教職員(校長または教頭の他、教員はローテーション)が参加。

■成果・効果

中学校区の小中で取り組む、「9年間のスパンで育てる生活目標」の一つであり、少しずつ校内外での活発なあいさつができるようになっていきます。登下校中の交通安全指導や登校時の身だしなみの指導にも役立っています。